

(様式)

普及項目	養殖
漁業種類等	養殖業
対象魚類	ノリ
対象海域	八代海

ノリ養殖指導

県南広域本部水産課・香崎 修、川崎 信司

【背景・目的・目標（指標）】

八代海のノリ養殖は、秋芽生産期の高水温化、色落ちの早期発生、あかぐされ病の拡大等により、生産枚数及び生産金額は減少傾向が継続し、経営体数は R3 年度から 1 経営体のみとなった。

ノリ養殖指導は、例年同様、ノリの安定生産等を目的に熊本県漁業協同組合連合会と共同で採苗指導や養殖状況調査を実施した。

【普及の内容・特徴】

(1) 採苗指導

実施日等：令和 4 年(2022 年)10 月 26～27 日

内容：採苗中の芽数や芽いたみ等の検鏡結果の情報提供及び養殖指導を行った。

(2) 養殖状況調査

実施月及び調査定点：令和 4 年(2022 年)11 月～翌年 2 月、調査定点は図 1 に示す。

内容：漁場環境調査（水温、比重等）、ノリ葉長計測、病害等の発生調査、これらの情報提供及び養殖指導を行った。なお、例年では育苗期から生産が軌道に乗る 1 月中旬までを調査期間としているが、珪藻赤潮が長期継続し生産が大幅に遅れたため、1 月 23 日以降も追加調査として葉体サンプルの検鏡等のみを行った。

【成果・活用】

今年度は、10 月 25 日に開始された採苗は概ね順調であった。しかし、11 月から翌年 1 月にかけて、珪藻プランクトンの発生等に起因する漁場の栄養塩不足、葉体の形態異常と生長不良や重篤な色落ち等により、生産が大幅に遅れた。しかし、海況が回復した 1 月下旬から生産が可能となり、2 年ぶりの出荷につなげることができた。

【達成度自己評価】

4 目標（指標）はほぼ達成できた（76～100%）

(様式)

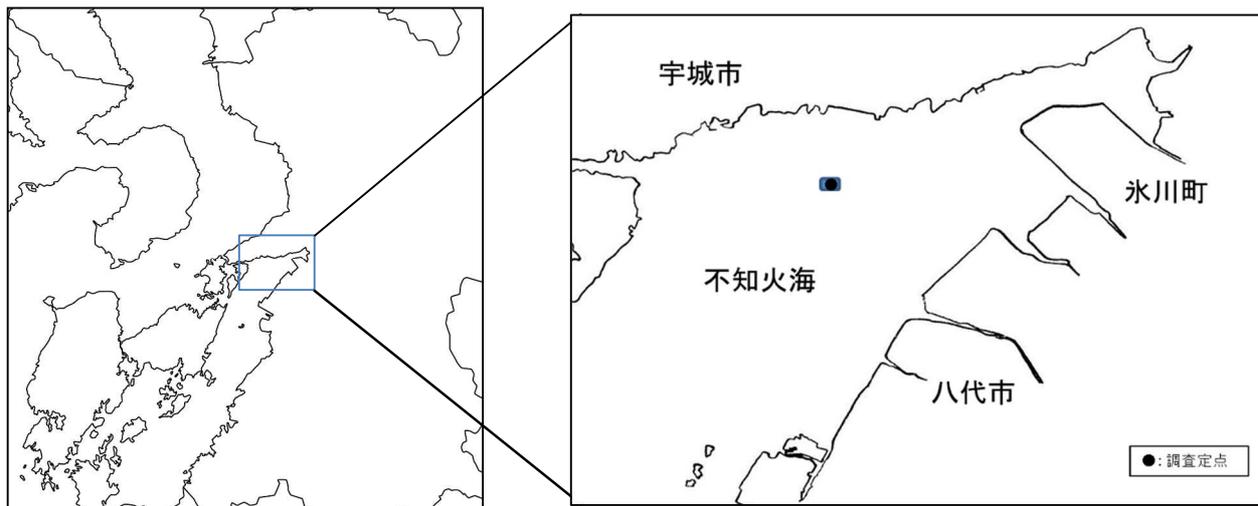


図1 養殖状況調査定点図 (地点)



図2 養殖状況調査
(色落ちした葉体の状況)



図3 養殖状況調査
(サンプリング等)



図4 養殖状況調査
(プランクトン濃縮状況)



図5 ノリ葉体の検鏡状況